

出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係る令和4年度の実績について

平成30年度に策定した「出雲市中小企業・小規模企業振興計画」を着実に推進するため、本計画の進捗状況について、P D C Aサイクル（Plan：計画、Do：実行、Check：評価、Act：改善）による進行管理を行っています。

本計画の基本方針ごとに掲げている令和4年度の達成値について、下記のとおり報告します。

○出雲市中小企業・小規模企業振興計画 成果指標及び達成値一覧

NO	基本方針	目標項目	成果指標 令和4年度 (2022)	達成値 令和4年度 (2022)	掲載 ページ	担当課
1	1 事業発展(経営基盤強化・成長促進)への支援	産学官連携による共同開発件数	6件	6件	2ページ	商工振興課
2		市内ソフト系IT企業雇用者数	30人増	32人増	2ページ	商工振興課
3		出雲ブランド商品認定数	3件	2件	3ページ	商工振興課
4	2 人材の育成・確保	UIターン就職支援窓口相談者数	年500人	263人	3ページ	産業政策課
5		高校卒業予定者の就職率	県内78% 市内70%	県内83.7% 市内67.0%	4ページ	産業政策課
6		職場定着向上支援セミナー受講者数及び実施回数	年100人 年4回	87人 年3回	4ページ	産業政策課
7		いずも産業未来博の体験型企画参加人数(来場者数)	9,000人	11,500人	5ページ	産業政策課
8		経営者を対象としたワーク・ライフ・バランス研修実施回数	年5回	6回	5ページ	市民活動支援課
9	3 円滑な事業承継支援と創業支援	事業承継セミナー参加者数	130人	40人	6ページ	商工振興課
10		創業につながった支援者数	40人	55人	6ページ	商工振興課

出雲市中小企業・小規模企業振興計画 評価段階(個票)

NO.	1
基本方針	1 事業発展(経営基盤強化・成長促進)への支援
推進施策	1-1 産学官金連携の推進
目標項目	産学官連携による共同開発件数(累計) (目標)R4年度末(R2~R4 3年間累計) 18件
成果指標	産学官連携による共同開発件数と開発商品の販売状況(島根大学から情報提供) 【R4年度目標値】 6件
現状と成果	共同開発件数は6件であり、商品化に至ったものはなかったが、一部で商品化に向け検証等が実施されている。市が関与するマッチングは0件 R2~R4の3年間の累計22件
評価段階	達成状況
5	共同開発件数の目標を上回り、かつ市が関与するマッチングが5件以上であった。
4	共同開発件数の目標を上回り、かつ市が関与するマッチングが2件以上であった。
3	共同開発件数の目標を上回った。
2	共同開発件数の目標の5割以上だった。
1	共同開発件数が目標の5割未満だった。
課題と対応	市販可能となった商品の販路拡大、PRについて、中海・宍道湖・大山圏域市長会 医工連携協議会などとも連携しながら支援を行う。

NO.	2
基本方針	1 事業発展(経営基盤強化・成長促進)への支援
推進施策	1-5 IT産業の活性化
目標項目	市内ソフト系IT企業雇用者数(累計) (目標)R4年度末(R2~R4 3年間累計) 90人
成果指標	IT産業従事者の増加 【R4年度目標値】 従事者の増加人数30人
現状と成果	IT企業従事者数について32人の増となり目標値を達成した。
評価段階	達成状況
5	従事者数の目標を大きく上回り、売上高が前年比20%以上増加した。
4	従事者数の目標を上回り、売上高が前年比10%以上増加した。
3	従事者数の目標を上回った。
2	従事者数の目標の5割以上だった。
1	従事者数が目標の5割未満だった。
課題と対応	各企業ともに従事者の採用意欲があり、順調に従事者は増えていくものと考えます。今後もIT企業への支援策を継続していきます。

NO.	3
基本方針	1 事業発展(経営基盤強化・成長促進)への支援
推進施策	1-3 販売拡大の推進
目標項目	出雲ブランド商品認定数 (目標) R4年度末(3年間累計) 9商品
成果指標	商品認定数の増加 【R4年度目標値】 3件
現状と成果	認定数は2件(申請件数は2件)となった。 認定商品数(R4年度末 28商品)
評価段階	達成状況
5	商品認定数の目標を大きく上回った。
4	商品認定数の目標を上回った。
3	商品認定数の目標と同数だった。
2	商品認定数の目標の5割以上だった。
1	商品認定数が目標の5割未満だった。
課題と対応	市内にある優れた商品を掘り起こし、「出雲ブランド商品」に申請していただけるよう促していく。

NO.	4
基本方針	2 人材の育成・確保
推進施策	2-1 県外学生・UIターン就職希望者の市内中小・小規模企業への就職支援
目標項目	UIターン就職支援窓口相談者数 R1年度 445人 → (目標)R4年度 年500人
成果指標	UIターン就職支援窓口への相談者数 【R4年度目標値】 年あたり500人
現状と成果	新型コロナウイルス感染用拡大の影響により中止されていた県外での相談会が3年ぶりに開催されたが、数を伸ばすことができず263人となりました。
評価段階	達成状況
5	UIターン就職支援窓口への相談者数が600人を上回った。
4	UIターン就職支援窓口への相談者数が550人を上回った。
3	UIターン就職支援窓口への相談者数が目標を上回った。
2	UIターン就職支援窓口への相談者数が目標の5割以上だった。
1	UIターン就職支援窓口への相談者数が目標の5割未満だった。
課題と対応	関係部署と連携を図り、相談者を掌握するとともに、オンライン移住相談会などを通じて、UIターンの就職相談に対応していく必要があります。

NO.	5
基本方針	2 人材の育成・確保
推進施策	2-2 市内中小・小規模企業の人材確保支援
目標項目	高校卒業予定者(就職希望者)の県内就職率、市内就職率 【県内】 R1年度 78.4% → (目標)R2~R4 78% 【市内】 R1年度 63.7% → (目標)R2~R4 70%
成果指標	高校卒業予定者(就職希望者)の県内就職率と市内就職率 【R4年度目標値】 県内78% 市内70%
現状と成果	県内就職率が83.7%と目標値を上回りましたが、市内は目標値を下回り67.0%となりました。
評価段階	達成状況
5	県内就職率・市内就職率ともに目標を達成している。
4	市内就職率の目標を達成し、県内就職率が75%を上回っている。
3	市内就職率の目標を達成している。
2	市内就職率の目標を5%以上下回っている。
1	市内就職率の目標を10%以上下回っている。
課題と対応	今後も同水準を維持するため、高等学校・中学校への県内就職に向けた取組を引き続き実施していく必要があります。

NO.	6
基本方針	2 人材の育成・確保
推進施策	2-2 市内中小・小規模企業の人材確保支援
目標項目	職場定着向上支援セミナー受講者数及び実施回数 R1年度 88人 4回 → (目標)R4年度 100人 3回
成果指標	職場定着向上支援セミナー受講者数及び実施回数 【R4年度目標値】 年あたり100人 4回
現状と成果	セミナーを3回実施し、受講者数が87人となりました。
評価段階	達成状況
5	受講者数・実施回数ともに達成している。
4	実施回数の目標を達成し、受講者数が90人を超えている。
3	実施回数の目標を達成している。
2	実施回数が2回以上で、受講者数が70人を超えている。
1	実施回数が2回以上である。
課題と対応	参加者の要求に応えられるような研修内容を検討して実施していく必要があります。

NO.	7
基本方針	2 人材の育成・確保
推進施策	2-3 子ども・若者への魅力発信
目標項目	いずれも産業未来博の体験型企画参加人数 R1年度 9,119人 → (目標) 毎年度9,000人
成果指標	未来博の体験型企画参加人数 【R4年度目標値】 9,000人
現状と成果	参加人数は11,500人で、目標を上回りました。
評価段階	達成状況
5	参加人数の目標を達成し、子ども・若者へのアンケート結果として、市内の企業・産業を知る機会の提供となったとの回答が90%以上ある。
4	参加人数の目標を達成し、子ども・若者へのアンケート結果として、市内の企業・産業を知る機会の提供となったとの回答が80%以上ある。
3	未来博の体験型企画参加人数(累計)が目標を達成した。
2	未来博の体験型企画参加人数(累計)が目標を達成していない。
1	未来博を中止した。
課題と対応	新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえたイベントにするため、開催方法や会場への入場社数の制限などを検討していきます。

NO.	8
基本方針	2 人材の育成・確保
推進施策	2-4 経営者の意識・行動改革と多様化する働き方への対応
目標項目	ワーク・ライフ・バランスに関する企業や市民に向けた講座の開催回数 R元年度 5回 → (目標) 毎年度5回
成果指標	市が実施するワーク・ライフ・バランス研修実施回数 【R4年度目標値】 年あたり5回
現状と成果	「不妊治療と仕事の両立」、「ワーク・ライフ・バランス」、「アサーティブコミュニケーション」等についての出前講座を、目標値を上回る6事業所に対して開催しました。
評価段階	達成状況
5	5回以上
4	4回
3	3回
2	2回
1	1回以下
課題と対応	ワーク・ライフ・バランスに向けた取組を進めるため、今後も多くの事業所にご利用いただけるよう周知・啓発していく必要があります。

NO.	9
基本方針	3 円滑な事業承継支援と創業支援
推進施策	3-2 事業承継の支援
目標項目	事業承継セミナー参加者人数 R2年度からR4年度までの累計(目標値) 390人
成果指標	事業承継セミナー参加者人数 【R4年度目標値】130人 (R1年度末126人を参考)
現状と成果	新型コロナウイルス感染症の影響により2回の開催とし、受講者数が40人となった。 参加者アンケートの結果、「参考になった」との回答が第1回が95%、第2回が90%となった。 R2年度からR4年度までの事業承継セミナー参加者数 159人
評価段階	達成状況
5	参加者の目標を大きく上回り、かつ80%以上の参加者の知識向上につながった。
4	参加者の目標を大きく上回り、かつ50%以上の参加者の知識向上につながった。
3	参加者の目標を上回った。
2	参加者の目標の5割以上だった。
1	参加者の目標の5割未満だった。
課題と対応	アンケート結果を参考に事業者が関心のあるテーマを設定し、引き続き商工団体と連携を取りながら啓発に努める。

NO.	10
基本方針	3 円滑な事業承継支援と創業支援
推進施策	3-2 創業者の支援
目標項目	創業者数(商工団体、NPO法人21世紀産業支援センター、市で支援を行った者) R2年度からR4年度までの3年間累計(目標値) 120人
成果指標	創業者数と「創業塾」参加者の創業割合 【R4年度目標値】40人
現状と成果	創業の準備段階から事業化までのセミナーの開催や情報発信などを行い、創業につながった支援者数が57人となった。※創業塾参加者33人中、5人(15%)が創業 R2年度からR4年度までの3年間累計 165人
評価段階	達成状況
5	創業者数の目標を上回り、かつ創業塾参加者の5割以上が創業した。
4	創業者数の目標を上回り、かつ創業塾参加者の2割以上が創業した。
3	創業者数の目標を上回った。
2	創業者数の目標5割以上だった。
1	創業者数の目標の5割未満だった。
課題と対応	創業塾については、創業希望者のニーズを把握し、参加しやすい内容を検討するとともに、商工団体等と連携し、参加者増を図っていく。